

# 第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
07030010	基本施策	8 子育て・子育ての充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	2 地域ぐるみの子育て支援			
事業名	こども施策推進事業		担当課	こども未来室	
事業期間	令和6年度～令和9年度	事業主体	関係課	保育所 教育振興課	
事業指標	施策事業の確実な進捗		数値目標	施策実施数	

全体計画事業内容		令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容			
こども家庭庁施策事業の推進 こどもの居場所に係る実態調査 市町村こども計画の策定 こども家庭センターの開設 こどもまんなか応援サポーター宣言 お父さん応援講座の実施 こどもの遊び場居場所づくり整備検討				こども家庭庁施策事業の推進 こどもの居場所に係る実態調査 こども家庭センターの設置検討 こどもまんなか応援サポーター宣言の検討 お父さん応援講座の実施検討		こども家庭庁施策事業の推進 市町村こども計画の策定 こども家庭センターの設置検討 こどもまんなか応援サポーター宣言の検討 お父さん応援講座の実施		こども家庭庁施策事業の推進 こども家庭センターの開設 こどもまんなか応援サポーター宣言 こどもの遊び場居場所づくり整備検討		こども家庭庁施策事業の推進			
		年度別数値目標											
	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
財源内訳	国庫支出金	2,474	974			974	974	1,500		0		0	
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	3,884	995			1,006	995	2,878		0		0	
合計(千円)		6,358	1,969	0	0	1,980	1,969	4,378	0	0	0	0	
特定財源	こどもの居場所づくり支援体制強化事業費補助金 こども政策推進事業費補助金 (こども計画策定支援事業)		評価・実績	実施内容		こどもの居場所に係る実態調査 こども家庭センターの設置検討 こどもまんなか応援サポーター宣言の検討 お父さん応援講座の実施検討							
				評価結果		A-継続/現状維持							

事業名	こども施策推進事業	評価者 管理職 職氏名	こども未来室 室長	武藤 知憲
		評価者 作成者 職氏名	こども未来室 室長	武藤 知憲

令和6年度実施  
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	町内のこども、保護者等		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	こども施策事業の確実な推進	
抱える課題やニーズ	こどもの育成に必要な環境を整備し、安心して子育てができるように支援するとともに、町の子育て施策の認知度向上が求められている。				
どのような状態になることを目指したのか (意図)	全てのこどもや若者が、健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できるように、こども・子育て家庭を地域ぐるみで支援する。		① 有効な施策数	目標値及び実績値	
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	子育て家庭を地域全体で支援し、安心してこどもを産み育てる環境が整うと、雄武町の将来を担う、心豊かな子どもが増え、確かな未来を拓くことに繋がる。			目標年度	令和6年度
内容 (どのような手段で何を行ったか)	こどもの居場所に係る実態調査	町内の小・中学生及び高等学校の全児童生徒を対象としたアンケートを実施するとともに、アンケート結果に基づき、図書館、児童センターにおいて、こどもの居場所に関するヒアリングを実施した。	目標値	4事業	
	こども家庭センターの設置検討/こどもまんなか応援サポーター宣言の検討	こども家庭センターを開設するには、センター長及び統括支援員を配置する必要があり、母子保健機能及び児童福祉機能双方の機能の一体的な運営を行うことが求められていることから、児童相談所職員を招聘し、設置に向けて2回の学習会を開催した。	実績値	4事業	
	お父さん応援講座の実施検討	共働き世帯が増えている今、両親が協力して育児を行うことが求められていることから、男性(父親)を対象とした子育て講座(家庭におけるパートナーの役割や家事・子育ての楽しさ、子どもとの接し方・遊び方などの内容)を開催することを検討した。	達成度	100.0%	
			②	目標年度	令和6年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	こども施策の基本的な方針は、こども・若者の意見を聴いて、その声をまんなかにおいて施策を推進することが求められている。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	令和7年度に策定を予定している、こども計画には、こどもの意見を反映させることも必要になるため、こどもの居場所に係る実態調査を実施することで、こどもの意見を聴取する目標は達成できた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	こどもの居場所に係る実態調査は、年度当初には計画がなかったが、必要であるとの判断のもと、こどもの居場所づくり支援体制強化事業費国庫補助金を活用し、業務委託において実施している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	こども施策推進事業は将来の雄武町を担うこどもの育成でもあり、平等に受益があることから公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	
計画している事業を全て実施しているほか、子ども・子育て会議にも参加し、第3期雄武町子ども・子育て支援事業計画の策定に携わるなど、計画以上の事業を進めている。	同左	

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持	継続/現状維持	
安心して子どもを産み育てる環境を整え、次世代を担う子どもたちの育成のために、雄武町こども計画を策定するとともに、こども家庭センターの開設なども予定しており、今後も計画通り事業を進めることが適当である。	同左	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止